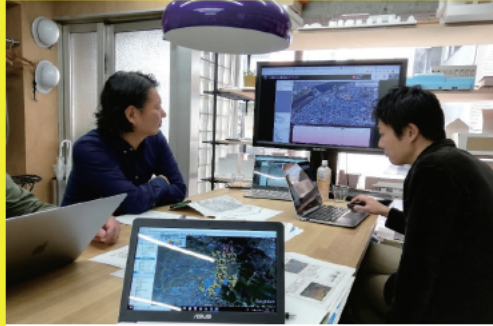


i-都市再生の活用について

～犬山市の見える化の推進～



補注：地図は©2019 ZENRIN, Data Japan Hydrographic Association, Google Earthを使用

愛知県 犬山市 都市計画課

i-都市交流会議2020

1

1. 都市計画審議会での報告資料として活用

「都市構造の可視化について」及び以下2点の方向性を報告。

- ①視覚的に表示することにより今後の立地適正化計画や都市計画マスタープラン策定の際の住民説明会等での利用を想定している旨を報告。
- ②各種施策の基礎検討資料として庁内利用を想定している旨を報告。

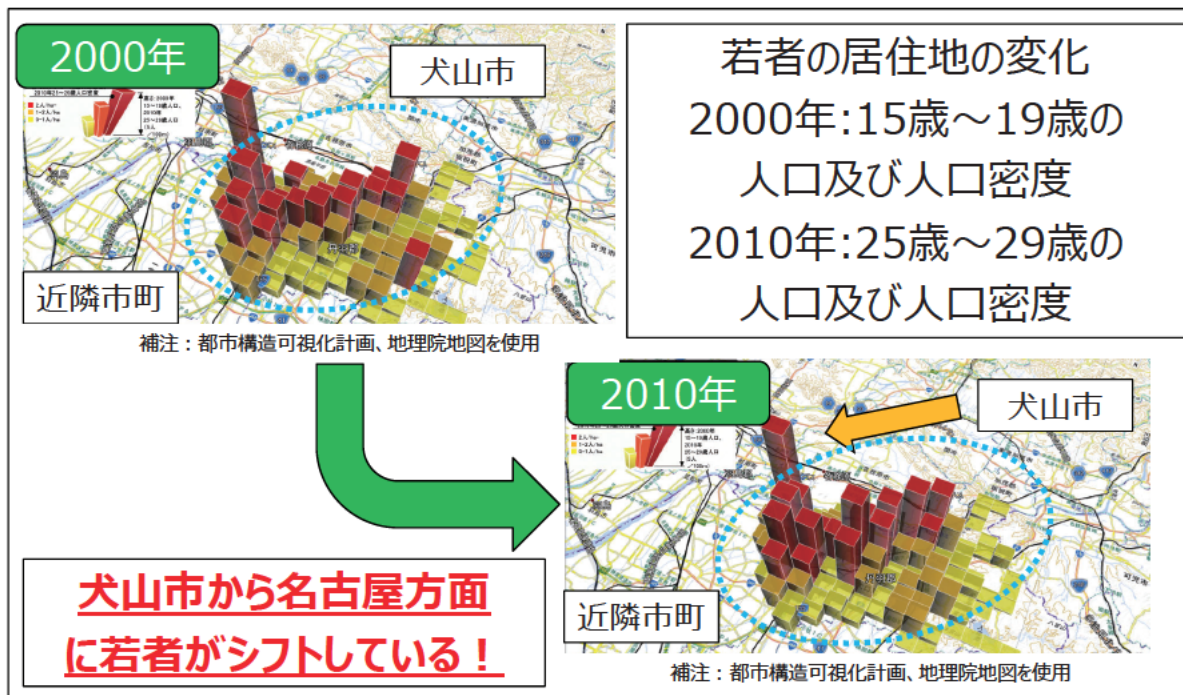


i-都市交流会議2020

2

2. 近隣市町との経年比較で活用

若者の居住地はわずか10年で大きく変化



i-都市交流会議2020

3

3. 犬山市の都市構造可視化例①

市の独自データを組み合わせ、KMLデータの作成を依頼

テーマ	空き家対策検討資料（犬山市）			
可視化方法	空き家数（H27年空き家調査） × 建築年別現況（H29都市計画基礎調査）			
見せるデータ	高さ	空き家数	色	昭和56年以前の建築物割合（赤＞橙＞黄）
詳細	犬山市内の空き家の分布を視覚的に把握する。 また、築年数を空き家率とクロス表示させることで、昭和56年以前の旧耐震基準の建築物が多く、空き家数が高いエリアが判明し、重点的な対策が必要な箇所が把握できる。			
将来展望	次回の調査時のデータ（空き家対策調査：R2予定/基礎調査：R4年予定）を同様に可視化し、空き家の経年変化を比較調査（スライダーで年度を動かせるように）し、空き家対策に活用する。			



i-都市交流会議2020

4

4. 犬山市の都市構造可視化例②

市の独自データを組み合わせ、KMLデータの作成を依頼

テーマ	用途地域の見直し基礎検討資料（犬山市）			
可視化方法	用途地域（2次元データ） × 建物用途別現況（H29都市計画基礎調査）			
見せるデータ	高さ	用途別充足率（不足率） （〇〇(用途)系延床面積 /合計延床面積）	色	用途地域 （商業系：赤色） （工業系：青色） （住居系：黄色）
詳細	犬山市内の用途地域の充足率（不足率）を視覚的に把握する。 また、用途地域については、商業系、工業系、住居系の3つに分け、用途別充足率（不足率）が特に高いエリアを把握し、今後の用途地域見直しの基礎検討資料とする。			

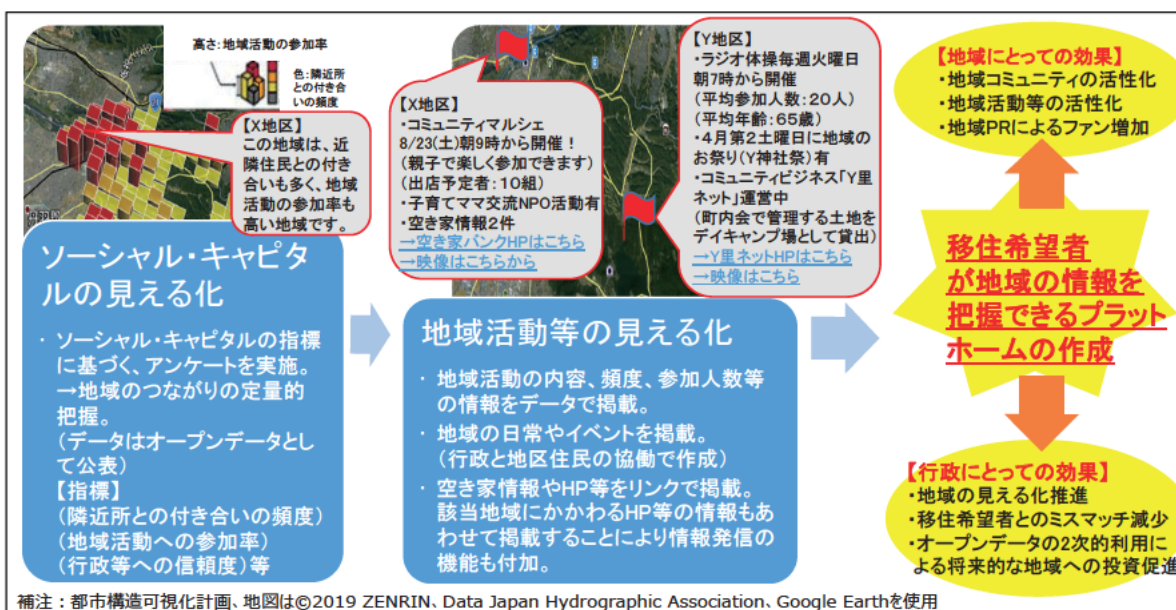


i-都市交流会議2020

5

5. i-都市再生モデル調査

内閣府が募集する「i-都市再生モデル調査」に応募&選定
提案者：特定非営利活動法人図的表現活用研究所（共同提案：犬山市）
提案名：地域活動の見える化により移住希望者に選ばれる地域へ



i-都市交流会議2020

6

6.都市構造の可視化における課題等

①仮想デスクトップの問題

- ・当市は、仮想デスクトップを導入しているが、仮想環境ではGoogle Earth Proのダウンロードが不可能（※当市はRESASも使用不可能）。

②KMLデータの問題

- ・KMLというファイル形式が内部に浸透していないため、仮想環境からKMLデータを即時にダウンロードできない（情報管理課を通す必要あり）。
- ・庁内にKMLデータを作成できる人材がないので今後の継続性に不安。

③オープンデータ化に関する問題

- ・当市は、全庁的に見れば、まだ紙ベースのみで所有しているデータも多々あり、統合型GISを導入しているものの、利活用できているのはいくつかの課のみ。
- ・現状、「紙ベースをGIS等(shpデータ)にしよう」という動きや「GISで利用していた機能の一部を公開していこう（閲覧のみ）」という動きが少し出始めたところ。
- ・誰でもデータの利活用ができるオープンデータ化についてはその先なので、まだまだ時間がかかりそう（予算の確保も難しい）。

①紙ベース
個別GIS
(当課のみ利用可能)



②統合型GIS
(全庁的に利用可能)



③GoogleEarth等
(誰でも使える)
(オープンデータ化)

i-都市交流会議2020

7

愛知県 犬山市



人口

74,007人
(2019.4.1現在)

面積

74.90km²

位置

愛知県の最北端
名神高速小牧ICより11km
名古屋駅より電車で25分

犬山祭



木曽川うかい



犬山城



i-都市交流会議2020

8